

里山再生モデル事業の進捗状況について

(1) 検討状況

- ① 4月7日に第1回連絡会議を開催し、モデル事業の進め方、今後のスケジュール等を検討・確認。 ※17市町村^注において検討することを確認

注：17市町村とは、田村市、南相馬市、川俣町、檜葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村、いわき市、相馬市、二本松市、伊達市、広野町、新地町

- ② 4月中旬から5月初旬にかけて、復興庁、環境省、林野庁及び福島県が17市町村を訪問し、里山再生モデル事業の進め方や検討項目を説明。
- ③ 17市町村の意向把握や市町村から提示のあった要望等を検討。
- ④ 候補地及び事業内容の検討が進んでいる市町村については、6月初旬から、関係省庁及び福島県が、当該各市町村とともに、モデル地区の候補地への現地調査を逐次実施。
- ⑤ 現地調査を実施した市町村については、モデル地区の選定に向けて、更なる検討・調整を逐次実施。
- ⑥ ⑤以外の市町村についても、個別に相談・調整を進めており、モデル地区の候補地及び事業内容の検討が進み次第、現地調査を実施していく予定。

(2) モデル地区の候補地及び事業内容の例

① 候補地の例

- ・スポーツ施設周辺の施設利用者などが日常的に立ち入る森林
- ・公営住宅周辺の日常的に人が立ち入る森林

② 事業内容の例

- ・歩道及び歩道周囲の堆積物除去
- ・間伐等の森林整備
- ・線量マップの作成